

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	生涯学習審議会事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	05	01	02	03
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	戸部 孝彰				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習施策全般	意図	審議会からの建議若しくは市の諮問に対する答申などを、生涯学習施策に役立てる。
事業内容	生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する重要事項や事業等を調査及び審議し、市長又は教育委員会に答申や建議をする。			
事業開始から現在までの状況変化	生涯学習を推進するため、社会教育委員会等4つの既存の附属機関を整理統合して、平成20年4月に生涯学習審議会を設置した。現在、学識経験者2人、学校教育関係者4人、社会教育団体を代表する方1人、家庭教育分野を代表する方1人、市民等（公募）4人で構成。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	審議会の開催回数	3	4	4	回
②	委員出席数（延べ人数）	30	39	44	人	↑↑↑	実績値
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	市民等の委員を公募し4名の委員を配置し、市民の声を拾える委員構成としている。また委員総数12名中、女性委員は3分の1にあたる4名を配置。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 生涯学習審議会委員の任期満了に伴う改選を平成27年1月に行い、市民等の公募委員を4名とした。 平成26年度は、おたかの森センターの条例、文化芸術振興条例、新体育館の利用料金等について審議している。			
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,651,700	2,651,800	2,529,580			
事業費(b)(円)		161,900	219,300	237,600			
うち一般財源		161,900	219,300	237,600			
職員給与費(c)(円)		2,489,800	2,432,500	2,291,980			
人役・職員(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	平成27年1月の委嘱に際しては、市民等の公募枠を5名以内で公募を行う。	③取り組みの課題	女性委員が33.3%で、4割を下回っている。
②今年度(H26)に実施した取り組み	(仮称) おたかの森センター及び文化芸術振興条例、新体育館の利用料金などについて審議した。	④今後の改善計画	次回の委員改選期には4割以上の女性委員の選出を目指す。